

はなみずきの まちだより

2013年4月

第58号

編集・発行 千種区社会福祉協議会

名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

TEL 052-763-1531 FAX 052-763-1547

ホームページ

<http://www.chikusa-shakyo.jp>

千種区社協

検索

平成25年度 千種区社会福祉協議会

賛助会員 募集!!

いっしょに進めてみませんか?

誰もが安心して
暮らせるまちづくり

千種区社会福祉協議会では、区民の皆様とともに地域福祉を推進するにあたり、地域での福祉事業を支援するため、会員としてその経費にご協力いただく賛助会員を広く募集いたします。



ご賛同いただいた賛助会費は下記の事業に使われています。

学区地域
福祉推進協議会への助成

ボランティア情報誌
「ティアラ」の発行

目の不自由な方のための
広報なごや点訳版
録音テープ版の作成

「はなみずきのまちだより」
の発行

賛助会費

個人(年間)1口 **500円** 法人・団体(年間)1口 **5,000円**

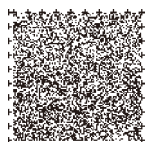
※賛助会費は年会費として毎年、集金させていただきます。(ただし、お申し出があれば会員登録を廃止します。)

各ページにSPコードを載せました。SPコードとは、このコードの中に文字情報を記録することができ、専用の読取機で読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができます。これにより、高齢者や目の不自由な方にもこの広報紙の情報を提供できるようになります。(携帯電話で読み取るQRコードではありません。)

SPコードをご利用の方がいらっしゃいましたら、千種区社会福祉協議会(TEL.763-1531)までご連絡ください。

この広報紙は賛助会費を財源に作成しました。

SPコード





地域で支えよう！ 認知症高齢者

はいかい高齢者おかえり支援事業

実施報告



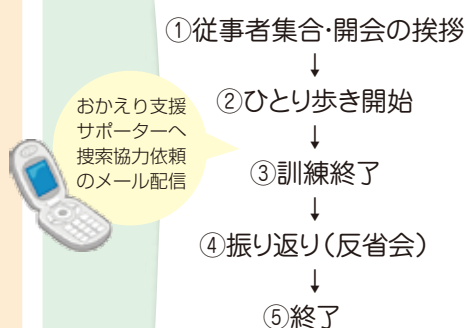
名古屋市では、認知症の方の徘徊による事故を防止するため、地域の皆さんの協力を得て、徘徊されている方を早期に発見する取り組み「名古屋市はいかい高齢者おかえり支援事業」をすすめています。本事業の実施に伴い、千種区では、「認知症の方が、はいかいのため行方不明になった」という想定のもと、区内7中学校区ごとに訓練コースを1つ設けて模擬訓練を1月30日に実施しました。

右記2点を目標とし、各コースでははいかい高齢者のモデル役がひとり歩き出し、地域の皆様に協力を呼びかけ、行方不明者の搜索、発見、声掛けまでの支援の流れについて訓練を行いました。

模擬訓練の目標

- ①はいかい高齢者おかえり支援事業を千種区の皆様に広く知っていただくこと
- ②はいかい高齢者の方への「声のかけ方」を知っていただくこと

模擬訓練の流れ・様子



ルートを確認しながら出発！
啓発用のぼり旗を持ってPRしました



スーパーや商店等に立ち寄り、はいかい
高齢者役が買い物を行い、店員さんから
やさしく声かけていただきました。

アンケートの結果

- ・166名（男性53名、女性109名、未記入4名）の10代から80代までの幅広い世代の方が声かけにご協力をいただきました。
- ・うち、おかえり支援サポーターへの**配信メールを見て声かけしてくれた方は4名、はいかい高齢者おかえり支援事業を知っている方は、58人（35%）**でした。

～声かけしてくれた方の声～

- ・この活動が広がればいい。
- ・店へ買い物にいらっしゃる方で「大丈夫かな」と思われる人もいるので、心がけていきたい。
- ・模擬訓練だと分かっているから声をかけやすいが、実際に出会ったときに声かけられるか不安。度胸もいる。声のかけ方が知りたい。



まとめ

今回の模擬訓練は、ボランティアや地域の皆様、職員など総勢53名が参加して実施し、無事に終わることができました。ありがとうございました。

訓練中、「どのように声をかけたらいいかわからない」との質問があり、認知症の方の気持ちや声かけのポイントなどを説明する場面もあり、声のかけ方などを学ぶ機会が必要だと感じました。

反省会では、本事業を知らない方が多いため、継続的な模擬訓練の実施、スーパー・コンビニ等への働きかけ（協力事業者の拡大）や積極的な事業のPRが必要という意見をいただきました。

模擬訓練の振り返りを活かして、今後も認知症に関する正しい知識などの普及啓発活動をすすめるとともに、認知症の方への見守りや声をかけあえる地域づくりに取り組んでいきます。

認知症コールセンターのご案内

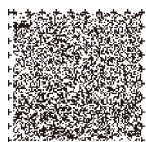
認知症に関する様々な相談に応じます。お気軽にご相談ください。

（相談は無料です。※通話料はかかります。）

認知症コールセンター 電話：052-763-1332

受付時間は月・水・木・金 10：00～16：00

火 14：00～20：00（年末年始・祝日を除く）



千種区社会福祉協議会 平成25年度 事業計画のあらまし

平成25年度も引き続き「つながる・ひろがる・かよいあう」をテーマに、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。また、都福祉会館と千種児童館の運営を名古屋市から受託しましたので、一層地域に根ざした事業を展開してまいります。また、今日的な福祉課題を認識し、新たな5か年計画「第3次地域福祉活動計画」の策定に取り組んでまいります。

- ① **地域福祉活動計画の推進**
第2次地域福祉活動計画の推進
第3次地域福祉活動計画の推進
- ② **地域の福祉ネットワークづくり・住民による福祉活動の推進**
地域福祉活動に関する総合相談、地域福祉推進協議会・ふれあい給食サービス事業への助成・活動支援、福祉見学ツアーの開催 など
- ③ **ボランティア活動の推進**
ボランティアセンターの運営（相談、登録、需給調整、活動保険等）、ボランティア・NPO応援助成事業の実施 など
- ④ **広報・啓発**
広報紙「はなみずきのまちだより」の発行、広報紙設置協力店の募集、ホームページの運営 など
- ⑤ **地域福祉財源の確保**
賛助会員の募集、赤い羽根共同募金運動への協力 など
- ⑥ **赤い羽根共同募金配分金による地域福祉活動への助成、支援**
区内福祉団体における地域福祉活動への助成 など
- ⑦ **高齢者・障がい者・低所得世帯等の援助**
生活福祉資金の貸付（県社協協力事業）、緊急小口資金貸付事業償還事務 など
- ⑧ **高齢者の生きがいづくりと地域活動参加の促進**
高齢者はつつつ長寿推進事業の実施 など
- ⑨ **千種区在宅サービスセンターの運営**
研修室、調理実習室の貸出 など
- ⑩ **都福祉会館の運営**
わくわく通所事業の実施、回想法及び出前回想法の実施 など
- ⑪ **千種児童館の運営**
中高生の居場所づくり事業の実施、留守家庭児童クラブの実施、いこいの家事業の実施 など
- ⑫ **介護保険による在宅福祉サービスの実施**
通所介護（デイサービス）事業の実施、居宅・訪問介護（なごやかヘルプ）事業の実施
- ⑬ **千種区西部いきいき支援センターへの運営協力**
実施主体である市社協に協力し、高齢者の相談等に対し、包括的・継続的マネジメント支援を社会福祉士・保健師（看護師）・主任介護支援専門員などの専門職員が連携して行います。

平成25年度 予算のあらまし

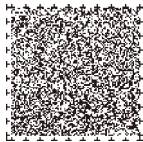
収入 (千円)	会費収入	7,021	支出 (千円)	人件費支出	135,763
	寄付金収入	3		事務費支出	22,038
	補助金収入	4,048		事業費支出	40,728
	助成金収入	42,794		助成金支出	20,286
	受託金収入	85,273		負担金支出	2,178
	事業収入	1,777		借入金償還支出	10,004
	貸付事業収入	200		積立預金支出	8,002
	共同募金配分金収入	10,650		その他	4,675
	介護保険収入	60,309		予備費	2,613
	負担金収入	1,868			
	雑収入	572			
	借入金償還補助金収入	9,804			
	その他	2,734			
	前期繰越金	19,234			
収入合計		246,287	支出合計		246,287

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました!!

昨年10月1日から12月31日まで実施された赤い羽根共同募金運動に、たくさんのご協力をいただきました。皆さまからお寄せいただいた募金は、主に千種区内の地域福祉事業に役立てられます。



平成24年度 募金額	
赤い羽根共同募金	13,544,658円
歳末たすけあい募金	1,137,181円
合 計	14,681,839円





ボランティア・NPO応援助成 ～赤い羽根共同募金配分金を活用した一般公募助成～

申請団体募集!!

対象団体 区内で活動するボランティアグループや特定非営利活動法人

場 所 地域福祉推進の視点から「誰もが安心して生活できる福祉のまちづくり～つながる・ひろがる・かよいあう～」を目指す事業で、平成25年度中に、千種区内で実施するもの。

助成金額 総額100万円 1団体につき最高10万円

方 法 6月14日(金)までに所定の申請書類を提出。その後、書類・プレゼンテーション等による審査があります。助成時期は、7月下旬を予定。

詳しい内容は 千種区社会福祉協議会ボランティアセンター 電話 **763-1536**



善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄附をいただきました。

＜平成25年1月26日～平成25年3月18日＞

- NPOブックサポートONE様
- ユニー株式会社ピアゴ
ラ フーズコア荻場店様
- アピタ千代田橋店様

平成25年2月27日(水)に
NPOブックサポートONE様
より千種児童館に児童図書
の寄附をいただきました。



皆さまからいただいた寄附金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。



Q. 認知症については、正しい理解と、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることが大切です。また、認知症の方への対応のポイントとして次の3つがあります。〇〇に入る共通の言葉を当ててください。

- ① 驚かせ〇〇 ② 急がせ〇〇 ③ 自尊心を傷つけ〇〇

【応募方法】 ハガキにクイズの答えと広報紙「はなみずきのまちだより」の感想をお書きください。住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ千種区社会福祉協議会「社協クイズ」係まで。締切は**5月31日(金)**とさせていただきます。

☆正解者の中から抽選で10名に記念品をプレゼントします。



社会福祉法人 **名古屋市千種区社会福祉協議会** (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825 / 名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

● **お問い合わせ先** 電話番号が増え、今までよりご利用に応じお電話いただけることになりました。

TEL 【代表】 052-763-1531
【ボランティアセンター】 052-763-1536
【千種区西部いきいき支援センター】 052-763-1530
【認知症コールセンター】 052-763-1332
【千種区介護保険事業所】 052-763-7842
【デイサービス】 052-763-1331

FAX 052-763-1547

ホームページ



<http://www.chikusa-shakyo.jp>

